

予算委員会で 教育、まちづくり、防災、発達障害児支援などについて質問しました（以下は、主な質疑項目です）

Q 体育館の非構造部材の耐震化はめどが立ちそうなので教室についても取り組みを始める時期に来ているのではないか？

A 【学校施設課】 体育館は、避難の際の生活の中心になることを想定しているので優先している。教室等の非構造部材の耐震化については、学校施設リフレッシュ計画の中で対応していく考えである。

Q 教職員の大量退職、大量採用の時代なので若手の育成は当然として、本市の教育的リーダーの育成にも本格的に取り掛かるべきではないか？

A 【教育研究所】 教育経営研修として大学教授、学校管理職、民間企業役員などを講師に講義や演習、グループ協議などを通して専門的理論や実践方法を身に付けられるようにしている。教育委員会でも学年主任、教務主任、研究主任などの研修を実施している。

Q 県費負担教職員の給与の財源を政令市へ委譲することが決まったようだが、今から準備を整えてメリットをしっかりと生かせるようにすべきではないか？

A 【教職員課】 教員の給与、定数、人事に関する条例や給与、旅費などの支給システム、福利厚生事業等膨大な事務が見込まれているので遺漏のないように進めていきたい。メリットとしては、学校の事情に応じた人員配置が可能となるため教育効果を高めるためのソフト面の研究も進めたい。

Q 防災の観点から道路ストックの総点検を早急に！

筐子トンネル天井盤崩落事故を契機に道路設備の安全性が問い直されている

A 【道路環境課】 橋梁と横断歩道橋は5年ごとに点検し修繕を行っている。平成26年度、立体交差等は、残りの79か所、道路案内標識は、残りの273か所の点検を進める。のり面、擁壁等についても26年度から調査に取り組む。大型の道路照明灯については、約9000灯を26年、27年の2年間で点検調査していく。

Q 組合施行区画整理の事業長期化解決対策の推進を！

A 【区画整理支援課】 地区の課題に沿って、道路幅員や公共施設等の一部見直し、建物移転戸数の縮減などについて調査・検討して、26年度には、施行者である組合に見直し案を提案して参りたいと考えるが地元のご理解が第一なので十分な協議調整を行いたい。



**Q 加田屋地区の公園整備の推進について**

**A** [都市公園課] 今年度、都市公園課で課題整理を行ったことをもとに大宮聖苑内に関係部局が集まっての庁内検討会をもち土地利用現況調査などの動向を見て協議を進めていく。

**Q 地域公共交通導入改善支援事業の積極的展開を！**

市で把握している交通空白地域等に対して踏み込んだ提案をすべきではないか？

**A** [都市交通課] 提案の予算は、地域から相談いただいた運行計画、運行ルート  
の需要調査や実証運行の利用者アンケート、既存公共交通への影響調査、本格運行  
中の収支実績の確認などを行うためのものである。

**Q 見沼田圃の散策環境の向上のためにコミュニティサイクルのアクセス拡大を！**

**A** [見沼田圃政策推進室] 現在は、合併記念公園にサイクルポートがあるが、今  
後、浦和方面にも拡大していくことや代用水沿いの通路をサイクリングで使えるよ  
うにすることなども念頭に調整して参りたい。

**Q 発達障害児支援事業の推進を！**

**A** [育成課] 発達障害児は、地域の中でどれだけ受け入れられて生活していける  
かが大事なので、26年度は、地域支援にウエートを置いて、専門職を保育園や幼  
稚園などに派遣して発達障害児の受け入れ環境の調整を行って参りたい。

